

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成27年度第2回水谷地区公民館運営審議会会議録	
開催日時	平成28年2月4日(木) 午後7時～9時15分	
開催場所	水谷公民館 会議室	
出席者	是永 国彦委員 山本百合子委員 関根 健一委員 富塚 一資館長 高見 淳也主査 南部 英司主任	
会議次第	【協議事項】 (1) 今後の水谷公民館の事業展開について ① サロン型公民館の展開 ② 家庭教育：親の学習講座 (2) 次年度事業の展開について 【報告・連絡事項】 (1) 学級講座等開催事業等に関して (2) 施設維持管理事業に関して 【その他】	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> • 各種事業案内チラシ • 親の学習講座について • サロン事業について • 他施設での事例資料 • 水谷小学校郷土資料室について • 公民館事業報告書兼事業評価様式 	資料1 資料2 資料3 資料4 資料5 資料6
会 議 内 容		
＊あいさつ（館長、水谷地区公民館運営審議会委員代表） 【協議事項】 (1) 今後の水谷公民館の事業展開について ① サロン型公民館の展開 ⇒事務局から資料3に基づき説明 職員：一人暮らしサロンは、昨年度から開催されたが、いろいろな企画が行われており、いい展開がなされている。また、ピースサロンも今年度から始めたが、これらについては、市民から「やってみたい」という声を受けて、取り組んできたものである。公民館としては、このような声をしっかりと受け止めて、今後も事業を展開していきたい。		

委員：公民館関係の集会で、公民館を普段利用していないという登壇者から「公民館は敷居が高い」、「品の高い人が来る場所」というイメージがあるという意見があった。例えば、入口にある利用予定表のボードに団体の活動内容を紹介する、入口に、事業案内のインフォメーションを掲示するなど、公民館にもっと気軽に立ち寄ってもらえるような工夫がもっと必要ではないか。

職員：この地域は、新たな住宅が増えていることから、サロン活動を充実させるなど、いつでも、気軽に立ち寄ってもらえ、そこから人とのつながりができ、地域を知り、将来的には地域づくりに関わられるよう取り組んでいきたい。

②家庭教育：親の学習講座

⇒事務局から資料3に基づき説明

委員：インターネット、スマートフォンに関する講座は、被害の面からアプローチするのではなく、家庭内でのルール作りなど、どこまで使用するのかという観点で捉えないと、興味を持たないのでは。

委員：反省点を今後の取り組みのどのよう生かしていくのか、PDCAサイクルをしっかりとらせて取り組んでほしい。

(2) 次年度事業の展開について

⇒事務局から資料4・資料5に基づき説明

職員：公民館カフェについては、コーヒーボランティア講座を開催し、そこからサロンやイベントなどで協力していける体制がとれるよう、取り組んでいきたい。ただし、現時点では指導者等の発掘ができていないので、委員からも情報をいただきたい。

委員：前回会議では、事業展開は難しいことを言っていたのでは。

職員：前は飲食店営業としての展開は難しいとの認識で説明した。販売でなく、高齢者サロンなどで、コーヒーを出すことについては、特に問題はないと捉える。

職員：水谷小学校に郷土資料室があるが、教育課程が変わるなどして、授業での活用場面が少なくなっている。小学校、資料館、公民館と連携して、地域やサロン活動などで有効に活用できるよう、取り組んでいきたい。

【報告・連絡事項】

①学級講座等開催事業等に関して

②施設維持管理事業に関して

(時間の関係から、省略とした)

(3) その他

⇒事務局から、資料6に基づき、平成27年の事業報告および事業評価について説明。シートの記入方法として、当館独自に対象人数(目標)と、実績の内訳をいれてみることにする。

*閉会